

Point 159

- 642 Hurry up. There's () time left for us to catch the last train.
□□□ ① few ② a few ③ little ④ quite a little (京都学園大)
- 643 The postman doesn't often come here. We receive () letters.
□□□ ① many ② much ③ little ④ few (駒澤大)
- 644 She doesn't drink () coffee.
□□□ ① a little ② many ③ a few ④ much (城西大)
- 645 (see / few / people / to / came / quite / a) the new president.
□□□ (国士館大)
- 646 Not a few people attended the wedding ceremony.
□□□ ① Only a few ② Very many
③ Very few ④ Not very many (城西大)
- 647 Will you lend me () money?
□□□ ① bit ② little ③ some ④ few (東海大)

整理 72

many / much / few / little の用法と意味

用法	①「数えられる名詞」につけて「数」を表す。 ②名詞の複数形につく。	①「数えられない名詞」につけて「量」「程度」を表す。 ②名詞の単数形につく。
意味		
たくさん	many	much
ほとんど…ない (否定的)	few	little
少しの(肯定的)	a few	a little
少なからぬ	not a few / quite a few	not a little / quite a little

- 642 急いてください。最終列車に乗るのに、ほとんど時間がありません。
- 643 郵便配達の人には、ここにはあまり頻繁に来ません。私たちはほとんど手紙を受け取りません。
- 644 彼女はあまりコーヒーを飲みません。
- 645 大勢の人が新社長に面会に訪れた。
- 646 少なからぬ人々が、その結婚式に出席した。
- 647 いくらかお金を貸してくれませんか。

Point 159 ∴ many / much / few / little / some などの数や量を表す形容詞

左頁の【整理72】の内容を正確に押さえるのがまずは基本である。

- 642 不可算名詞につける **little** の意味 基本
 ▶ **little** は不可算名詞(数えられない名詞)につけて「ほとんど…ない」という否定的な意味を表す。
 ▶ **time** は「時間/時」という意味では不可算名詞。
- 643 可算名詞につける **few** の意味 基本
 ▶ **few** は複数形の可算名詞(数えられる名詞)につけて「ほとんど…ない」という否定的な意味を表す。
- 644 **much** の用法 基本
 ▶ **much** は「**much**+不可算名詞」の形で「たくさんの…」の意味を表す。
 !!注意 本問のように **much** が否定文で使われると「あまり…ない」の意味を表す。
- 645 **quite a few** と **a good many** の用法 標準
 ▶ **quite a few** は「**quite a few**+複数名詞」の形で「かなりの数の…/相当数の…」の意味を表す。
 ▶ **a good [great] many** も「**a good [great] many**+複数名詞」の形で「かなりの数の…」の意味を表す。
 !!注意 どちらの表現も複数形の可算名詞につけることに注意。
- 646 **not a few** の用法 標準
 ▶ **not a few** は「**not a few**+複数名詞」の形で「少なからぬ…→かなりの数の…」の意味を表す。
 ▶ **quite a few**(→645)と同意表現。
- 647 「**some**+不可算名詞」の用法 標準
 ▶ 「**some**+不可算名詞」は「多少の…/いくらかの…」の意味を表す。ただし、漠然とした程度を表すので日本語にあえて訳さないことが多い。なお、**money** は不可算名詞。
 +プラス 一般に **some** は肯定文で、**any** は疑問文・否定文・条件文で用いる。しかし、「依頼・勧誘・肯定の答えの期待」を表す疑問文では **some** を用いる。本問は「依頼」の疑問文なので **some** が用いられている。

648 The owner of the restaurant spent many () sleepless night
 □□□ worrying about how to pay his employees.

- ① a ② for ③ the ④ with

〈青山学院大〉

649 運動をして健康を保つためにも、多くの自由時間が必要である。
 □□□ We need (good / free time / to / deal / a / of) do some exercise
 and keep healthy.

〈日本大〉

650 彼は多くの人々の前で尋問された。
 □□□ He (a large number / in / of / questioned / the presence / was)
 of people.

〈日本大〉

Point 160

651 No topic is () if you are not interested.
 □□□ ① interest ② interested
 ③ interesting ④ interestingly

〈センター試験〉

652 The movie was very (), so I stopped watching it.
 □□□ ① boring ② confusion ③ interesting ④ bored

〈上智大〉

653 “How was your weekend?”
 □□□ “To tell you the truth, I was a little ().”
 ① boring ② nothing special
 ③ bored ④ empty

〈ノートルダム清心女子大〉

考え方

分詞形容詞の意味

分詞形容詞は **surprise** 「(人)を驚かせる」のように目的語に「人」をとり、〈人の感情に影響を与える〉という意味を持つ他動詞から生じたものが多い。

(1) 現在分詞から派生した分詞形容詞の意味

目的語を補った他動詞とほぼ同じ意味を持つ。すなわち、「人を[に]…させる(ような)」という能動的な意味になる。たとえば、**surprising** 「驚くべき」の本来の意味は「(人を)驚かせる(ような)」だと考えればよい。

(2) 過去分詞から派生した分詞形容詞の意味

「(人が)…させられて」という受動的な意味を表す。たとえば、**surprised** 「驚いて」のもともとの意味は「(人が)驚かされて」と考えればよい。

!! 注意 このような過去分詞から派生した分詞形容詞が主格補語で用いられる場合、主語は原則として「人」になる。

648 レストランのオーナーはどうやって従業員に支払うかを心配しながら何日もの間眠れない夜を過ごした。

- 648 「**many a** + 単数形の可算名詞」の用法 標準
 ▶ **many** は「**many a** + 単数形の可算名詞」の形で「たくさんの…」の意味を表す用法がある。多くの中の個々を強調する言い方である。
 ▶ 「**many a** + 単数形の可算名詞」は単数扱いであることもよく狙われる。
 ▶ spend A (in) doing 「A(時間)を…して過ごす」(→ 636)。
- 649 **a good deal of A** の用法 標準
 ▶ **a good [great] deal of A** (不可算名詞)「たくさんのA / 多量のA」
- 650 **a large number of A** の用法 標準
 ▶ **a number of A** (複数名詞)でも「多くのA / いくつかのA」の意味を表すが、**a large number of A** (複数名詞)は意味的により強い表現となる。
 !! 注意 **a (large) number of A** は複数扱いであることに注意 (→ 435)。
 ▶ in the presence of A 「Aの面前で」は重要イディオム。本問はそのAが a large number of people となる。

Point 160 : 分詞形容詞の用法

現在分詞や過去分詞は、名詞を修飾するなどの形容詞としての役割を果たすことがあるが、中には完全に形容詞化したものがある。それを分詞形容詞と呼ぶ。左頁の「考え方」を理解すれば、比較的容易に対応できるので、まずはその確認から始めよう。p.231の【整理73】に一覧表を載せてある。

- 651 **interesting** 「おもしろい←人に興味を持たせるような」 基本
 ▶ **interesting** 「おもしろい」の本来の意味は「(人に)興味を持たせる(ような)」だと考えればよい(→ 左頁の「考え方」)。
- 652 **boring** 「退屈な←人を退屈にさせるような」 標準
- 653 **bored** 「退屈して←退屈させられて」 標準
 ▶ **bored** 「退屈して」のもともとの意味は「(人が)退屈させられて」と考えればよい(→ 左頁の「考え方」)。
 ▶ ① boring は不可。I was boring. は「私はつまらない人間だった」の意味になる。前問と本問で現在分詞/過去分詞から派生した分詞形容詞の違いをはっきりと理解しておくこと。

651 興味を抱かなければ、どんな話題もおもしろくはない。

652 映画はとても退屈だったので、私は見るのをやめた。

653 「週末はどうでしたか」

「本当のことを言うと、少々退屈でした」

648 ① 649 a good deal of free time to

650 was questioned in the presence of a large number 651 ③ 652 ① 653 ③

654 “The students all went to the movie yesterday evening.”

“I heard it was really ().”

- ① amuse ② amused ③ amusing ④ amusingly <桃山学院大>

655 I was deeply () with myself after losing the race.

- ① disappointed ② disappointing
③ disappointed ④ disappointment <昭和女子大>

656 先生は、その結果にうれしそうです。

The teacher looked () with the result.

- ① pleasant ② please ③ pleased ④ pleasing <成城大>

657 ① Doesn't ② every one of us sometimes feel ③ confusing ④ by the

different demands of family, friends, and career? <成蹊大>

658 The final game made me so () that I could not remain seated.

- ① excite ② excited ③ exciting ④ to excite <東京家政大>

659 He could not help () with his lot.

- ① satisfying ② being satisfying
③ be satisfied ④ being satisfied <関西学院大>

654 「学生たちはみんな、昨晚、映画を見に行きました」

「その映画、とてもおもしろかったそうですね」

655 その競走に負けて、私は自分自身に深く失望した。

657 私たちはみな、家族、友だち、仕事からのさまざまな要求によって、ときどき困惑を感じさせられませんか。

658 その決勝戦は私をとて興奮させたので、席にじっと座ったままではいられなかった。

659 彼は、自分の運命に満足せざるを得なかった。

- 654 **amusing** 「おもしろい←人を楽しくさせるような」 **標準**
▶過去分詞から派生した分詞形容詞が主格補語となる場合は、原則として「人」が主語になる。よって② **amused** 「楽しんで」は不可(→p.228 **覚え方**の!!注意)。
- 655 **disappointed** 「失望して←失望させられて」 **標準**
▶**be disappointed with A** 「Aに失望する」は基本イディオムとして押さえる。
- 656 **pleased** 「喜んで/気に入って←喜ばせられて」 **標準**
- 657 **confused** 「困惑して←困惑させられて」 **標準**
▶③ **confusing** は「人を困惑させるような」がもともとの意味。本問の文意に合わない。**confused** 「困惑して←困惑させられて」にする。
- 658 **excited** 「わくわくして←興奮させられて」 **標準**
▶本問は、**excited** が目的語 **me** の目的格補語となっている。
▶③ **exciting** は不可。**The final game made me exciting.** は「決勝戦で私は刺激的な人間となった」の意味になる。
- 659 **satisfied** 「満足して←満足させられて」 **標準**
▶**cannot help doing** 「…せざるをえない」(→71)の表現であることを見抜く。よって動詞の原形で始まる③ **be satisfied** は不可。
▶**be satisfied with A** 「Aに満足している」は基本イディオム(→p.29[整理4])。

整理 73

感情表現の他動詞から生じた分詞形容詞

- **amazing** 「驚嘆すべき」/ **amazed** 「驚嘆して」
- **amusing** 「おもしろい」(→654)/ **amused** 「楽しんで」
- **annoying** 「うるさい」/ **annoyed** 「いらいらして」
- **boring** 「退屈な」(→652)/ **bored** 「退屈して」(→653)
- **confusing** 「まごつかせるような」/ **confused** 「困惑して」(→657)
- **disappointing** 「期待はずれの」/ **disappointed** 「失望して」(→655)
- **exciting** 「刺激的な」/ **excited** 「わくわくして」(→658)
- **interesting** 「おもしろい」(→651)/ **interested** 「興味があって」
- **moving** 「感動的な」/ **moved** 「感動して」
- **pleasing** 「楽しい」/ **pleased** 「喜んで/気に入って」(→656)
- **satisfying** 「満足のいく」/ **satisfied** 「満足して」(→659)
- **shocking** 「衝撃的な」/ **shocked** 「ざよっとして」
- **surprising** 「驚くべき」/ **surprised** 「驚いて」
- **tiring** 「骨の折れる」/ **tired** 「疲れて」

Point 161

660 My brother and I are so () that we often know what each other is thinking.

□□□

- ① alike ② like ③ likely ④ likewise 〈立教大〉

661 “Why does Mary wear so many clothes?”

□□□

- “Because she is very () to cold.”
① sensual ② sensible ③ sensitive ④ sentimental 〈東京家政大〉

662 Your children should be more () toward their teachers.

□□□

- ① respectable ② respected
③ respectful ④ respective 〈学習院女子大〉

663 The United States exports () products to Panama.

□□□

- ① industrializing ② industrial
③ industrialized ④ industrious 〈中央大〉

664 A 64-year-old woman was rescued () after spending ten days beneath the rocks.

□□□

- ① live ② alive ③ lively ④ living 〈東京慈恵医大〉

665 Reading () criticism is very helpful in understanding literature.

□□□

- ① literal ② literary ③ literally ④ literate 〈大妻女子大〉

666 That old woman was barely () but was a highly competent storyteller.

□□□

- ① literature ② literate ③ literary ④ linguistic 〈昭和女子大〉

660 兄[弟]と私はとてもよく似ているので、私たちはお互いが何を考えているかわかることがよくある。

661 「なぜメアリーは、そんなにたくさん服を着てるんだい？」
「彼女はとても寒がりなのよ」

662 あなたの子どもたちは、先生方に対してもっと礼儀正しくすべきです。

663 アメリカ合衆国は、パナマに工業製品を輸出している。

664 64歳の女性が岩の下で10日間を過ごした後生きて救出された。

665 文学評論を読むのは文学を理解するのにとても役に立つ。

666 あの老婦人はかろうじて読み書きができる程度だったが、とても有能な語り部であった。

Point 161 ∴ つづりと意味が紛らわしい形容詞

- 660 **alike** 「よく似て」と **likely** 「ありそうな」の区別 標準
- 661 **sensitive** 「敏感な」と **sensible** 「分別のある」の区別 標準
- 662 **respectful** 「礼儀正しい」、**respectable** 「立派な」、**respective** 「めいめいの」の区別 標準
▶ be respectful toward [to] A は「Aに礼儀正しくする」の意のイディオム。
- 663 **industrial** 「産業の／工業の」と **industrious** 「勤勉な」の区別 標準
- 664 **alive** 「生きて(いる)」と **lively** 「生き生きとした」の区別 標準
- 665 **literary** 「文学の」、**literal** 「文字通りの」、**literate** 「読み書きのできる」の区別 標準
- 666 **literate** 「読み書きのできる」 標準
+プラス **literate** の反意表現である **illiterate** 「読み書きのできない」も重要。

整理 74

つづりと意味が紛らわしい形容詞

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> { alike 「よく似て」(⇒660) { likely 「ありそうな」 { alive 「生きて(いる)」(⇒664) { lively 「生き生きとした」 { childlike 「子どもらしい」 { childish 「子どもっぽい」 { considerate 「思いやりのある」 { considerable 「かなりの」 { economic 「経済の」 { economical 「経済的な」 { favorite 「お気に入りの」 { favorable 「好都合の」 { healthy 「健康な」 { healthful 「健康によい」 { industrial 「産業の／工業の」(⇒663) { industrious 「勤勉な」 { invaluable 「非常に価値のある」 { valueless 「価値のない」 | <ul style="list-style-type: none"> { manly 「男らしい」 { mannish 「(女が)男っぽい」 { sensitive 「敏感な」(⇒661) { sensible 「分別のある」 { social 「社会の／社交界の」 { social 「社会的な」 { sociable 「社交的な」 { sleepy 「眠い」 { asleep 「眠って」 { successful 「成功した」 { successive 「連続の」 { imaginable 「想像できる」 { imaginary 「想像上の」 { imaginative 「想像力に富んだ」 { literate 「読み書きのできる」(⇒666) { literal 「文字通りの」 { literary 「文学の」(⇒665) { respectable 「立派な」 { respective 「めいめいの」 { respectful 「礼儀正しい」(⇒662) |
|---|--|

Point 162

667 I'm sure this book is well worth () twice.

- ① to read ② to be read ③ reading ④ for reading <国士館大>

668 It is worth () to visit London.

- ① enough ② lot ③ while ④ why <拓殖大>

Point 163

669 Barbara started to run faster and () up with him a few minutes later.

- ① can have caught ② was capable to catch
③ was able to catch ④ was possible to catch <慶應義塾大>

670 Man is the only animal () his hands ingeniously.

- ① capable with using ② capable to use
③ capable of using ④ capable for the use of <関西外大>

671 私はそんな短時間では準備ができなかった。

- I was (a / in / ready / short / such / get / to / unable) time.
<龍谷大>

整理 75

「できる／できない」を表す形容詞

able[unable], capable[incapable], possible[impossible] の用法は紛らわしいので以下の例で押さえておく。

He is (un)able to do the work. (⇒669, 671)

= He is (in)capable of doing the work. (⇒670)

= It is (im)possible for him to do the work. (⇒669)

667 確かにこの本は2度読むだけの価値が十分にある。

668 ロンドンを訪れる価値があります。

669 バーバラはさらにスピードを上げて走り始め、数分後には彼に追いつくことができた。

670 人間は、器用に手を使うことができる唯一の動物です。

Point 162 : worth の用法

667 A is worth doing 「Aは…する価値がある」

標準

▶ **worth** は形容詞でありながら、名詞や動名詞を目的語にとる。**A is worth doing** の形で「Aは…する価値がある」の意味になる。

▶ 主語のAが、必ず動名詞 **doing** の意味上の目的語になっていなければならないことに注意。本問では主語の **this book** が **reading** の意味上の目的語。

+プラス A is worth doing は次のように書きかえることができる。

A is worth doing = It is worth doing A = It is worth while to do A
= It is worth while doing A

668 It is worth while to do A 「Aする価値はある」

標準

+プラス 本問は London is worth visiting. と書きかえられる(→667)。

Point 163 : 「できる／できない」を表す形容詞

左頁の【整理75】の用法を正確に押さえておくとよい。

669 be able to do 「…することができる」

基本

▶ **be able to do** は通例、「人」を主語にとる。

+プラス ④ be possible to catch は不可。**possible** は原則として「人」を主語にとらない。また、主語が「人」でなくても「Aが…することは可能である」の文脈では、A is possible to do ではなくて、形式主語を用いた **It is possible for A to do** の形をとる。

▶ ② be capable to catch も不可。be capable to do の形はない(→670)。

+プラス possible と同様に、**impossible** は原則として「人」を主語にとらない。また、「Aは…することができない」を表す場合は、A is impossible to do ではなく、形式主語を用いて **It is impossible for A to do** と表現するのも possible と同様。

670 be capable of doing 「…することができる」

標準

▶ **capable** は **be capable of doing** で「…することができる」(= be able to do)の意味を表す。

▶ 本問は capable of doing の形容詞句が補語ではなくて、直前の名詞 the only animal を修飾している。

671 be unable to do 「…できない」 ⇔ be able to do

基本

▶ **be unable to do** は **be able to do** の反意表現だが、**be able to do** 同様に、通例「人」を主語にとる。

Point 164

672 My sister ① will be ② sure to visit you ③ when ④ you are convenient
 □□□ for it. 〈清泉女子大〉

673 It's () that you have such a good friend.
 □□□ ① fortunate ② glad ③ happy ④ satisfied 〈関西学院大〉

Point 165

674 His salary is too () to support his family.
 □□□ ① inexpensive ② weak ③ low ④ cheap 〈大阪経大〉

675 There () in the music hall.
 □□□ ① were many audience ② was much audience
 ③ were much audiences ④ was a large audience 〈東洋大〉

Point 166

676 He is one of the greatest () musicians.
 □□□ ① alive ② awake ③ living ④ worth 〈関西学院大〉

整理 77

叙述用法(補語)でしか用いられない形容詞

- | | | |
|-----------------------|------------------------|--------------------------|
| • afraid 「恐れて」 | • ashamed 「恥じて」 | • content 「満足して」 |
| • alike 「よく似て」 | • asleep 「眠って」 | • liable 「しやすい」など |
| • alive 「生きて」 | • awake 「目が覚めて」 | |
| • alone 「ひとりで」 | • aware 「気づいて」 | |

672 私の姉(妹)は、あなたが都合がよいときに、きっとあなたを訪ねるでしょう。

673 そんなに良い友人がいて、あなたは幸せですね。

674 彼の給料は、家族を養っていくにはあまりにも少ない。

675 ミュージックホールには大勢の聴衆がいた。

676 彼は、現在生存している最も偉大な音楽家のひとりです。

Point 164 Ⅲ 「人」を主語にとらない形容詞ととる形容詞

672 convenient の用法

標準

- ▶ **convenient** は通例, 「人」を主語にとらない。つまり, you are convenient for it とはならず, **it is convenient for you** となる。
- ▶ **be convenient for A** 「Aに都合のよい」の形で押さえる。

673 It is fortunate that 節「幸いなことに…である」

標準

- ▶ **fortunate** 「運のよい/幸せな」は「人」も主語にとるが, 形式主語を用いた **It is fortunate that** 節の表現も可。

＋プラス ② glad, ③ happy, ④ satisfied といった感情を表す形容詞は通例, 「人」以外を主語にとらない(⇒【整理76】)。

整理 76

「人」以外は主語にとらない形容詞

- **angry** 「怒った」
- **glad** 「喜んで」
- **sorry** 「気の毒な」
- **ashamed** 「恥じて」
- **happy** 「幸せな」
- **thankful** 「感謝して」など
- **furious** 「激怒して」
- **proud** 「誇りに思って」

Point 165 Ⅲ 「高い[安い]」を表す high[low]と「多い[少ない]」を表す large[small]

674 low と cheap の区別

標準

- ▶ **low**[**high**] には「(給料が)安い[高い]」の意味がある。
- ▶ **cheap**[**expensive**] は「(品物などが)安い[高い]」の意味。

＋プラス **low**[**high**] は **salary** の他に, **price** 「価格」, **wage** 「給料」, **pay** 「報酬」, **cost** 「費用」, **interest** 「利子」などの場合にも用いる。

675 large [small] の用法

標準

- ▶ **large**[**small**] には「(数・量が多い[少ない])」の用法がある。audience 「聴衆」が「多い[少ない]」の場合は **large**[**small**] を用いる。

＋プラス **large**[**small**] は **audience** の他に, **population** 「人口」, **number** 「数」, **amount** 「量」, **sum** 「金額」, **salary** 「給料」, **crowd** 「群衆」などの場合にも用いる。

Point 166 Ⅲ その他の注意すべき形容詞

676 living の用法

標準

- ▶ **living** には「(人・動植物などが)生きている」の意味がある。
- ▶ 紛らわしい形容詞に **alive** 「生きて(いる)」があるが, **alive** は叙述用法(補語で用いられる用法)だけで, 限定用法(名詞を修飾する用法)はない。
- ▶ 叙述用法でしか用いられない形容詞は左頁の【整理77】参照。

672 ④ you are convenient for it → it is convenient for you 673 ① 674 ③

675 ④ 676 ③

677 Our new boss is always polite and () toward us.

- ① considerable ② considerate ③ considered ④ considering

〈神戸女子大〉

678 “I’m afraid this painting is not by Picasso.”

- “It’s only a copy, so it’s ().”

- ① priceless ② invaluable ③ unworthy ④ worthless 〈東海大〉

679 () Mr. Johnson was a really considerate person. If anyone got sick, he was the first to visit and offer help.

□□□

- ① The late ② Late ③ Latest ④ The latest 〈上智大〉

680 Harry always arrives on time. He’s so ().

□□□

- ① industrial ② bored ③ punctual ④ strict 〈東海大〉

681 “Hello. This is Jane Smith. Could I speak to Mr. Brown?”

□□□

“I’m afraid you have the () number. This is Mars University.”

- ① bad ② ill ③ wrong ④ different 〈東京家政大〉

682 君はまさに私が捜していた少年です。

□□□

You are the (boy / been / have / very / that / I) looking for.

〈関西外大〉

Point 167

683 I think I might join you, but I haven’t decided ().

□□□

- ① still ② yet ③ ever ④ never

〈京都精華大〉

677 私たちの新しい上司はいつも礼儀正しく私たちへの思いやりがある。

678 「この絵はピカソの作品ではないと思うのですが」

「これはただの模写です。ですから、値打ちはありません」

679 故ジョンソン氏は、本当に思いやりのある人でした。誰かが病気になる、最初に訪ねて行って援助を申し出る人でした。

680 ハリーはいつも時間通りに来ます。彼はとても時間に正確です。

681 「こんにちは。こちらはジェーン・スミスです。ブラウンさんとお話できますか」

「電話番号をお間違いだと思います。こちらはマーズ大学です」

683 あなた方の仲間入りをするとは思いますが、まだ決めていません。

- 677 **considerate** 「思いやりのある」= **thoughtful** 標準
+プラス つづりと意味が紛らわしい **considerable** 「かなりの」も重要(→p.233【整理74】)。
- 678 **priceless, invaluable, worthless** の区別 標準
 ▶① **priceless** 「たいへん貴重な」と② **invaluable** 「非常に価値のある」(→p.233【整理74】)はほぼ同意。
 ▶④ **worthless** 「価値のない」は **valueless** 「価値のない」(→p.233【整理74】)とほぼ同意。
- 679 **the late A** 「亡くなったA／故A」 発展
 ▶**late** が限定用法で用いられ、定冠詞や所有格を伴う場合にこの意味になる。
+プラス ③と④の **latest** は **late** の最上級だが、「最新の」の意味を表すことも重要。
- 680 **punctual** 「時間厳守の」の用法 標準
 ▶**punctual** は「時間に対して厳密な／時間厳守の」の意味である。
 ▶④ **strict** は「規則などに対して厳しい／厳格な」の意味(→1407)。
- 681 **wrong** の用法 標準
 ▶**wrong** には **the wrong A** の形で「違うA／間違ったA」の意味を持つ用法がある。
 ▶**the wrong number** を用いた、本問の **You have the wrong number.** 「電話番号をお間違えですよ」(→1266)は頻出。
+プラス **the wrong A** のAには **number, train, direction, person** などが来る。
!!注意 **wrong** の代わりに **different** を用いて、**You have the different number.** と表現することはできない。
- 682 **the very** + 名詞 「まさにその…」 標準
 ▶**very** には形容詞用法があって、「**the very** + 名詞」の形で「ちょうどその…／まさにその…」の意味を表す。
 ▶本問は **the very boy** とまとめ、後に関係代名詞節を続ける。

Point 167 : still, already, yet の用法

- 683 **yet** 「まだ(…していない)」の用法 基本
 ▶**yet** は否定文で「まだ(…していない)」の意味を表す。
 ▶① **still** は不可。**still** は否定文では通例、否定語の前に置かれ「まだ(…していない)」の意味を表す。
+プラス **already** は肯定文で「すでに(…した)」という完了の意味を表すことも押さえておこう。

Point 168

684 When John finally came, Mary had left ().

□□□

① before 10 minutes

② 10 minutes before

③ 10 minutes ago

④ 10 minutes early

〈國學院大〉

685 When she said she ① had met him ② ago, I ③ thought she ④ was telling a lie.

□□□

〈流通経大〉

Point 169

686 As I had a stomachache, I () ate anything yesterday.

□□□

① hardly ② incredibly ③ nearly ④ possibly

〈東北学院大〉

687 We () go to the movies, only once or twice a year.

□□□

① always ② never ③ often ④ seldom

〈城西大〉

688 Tom is almost always late. He () comes to work on time.

□□□

① mostly ② rarely ③ suddenly ④ usually

〈共立女子大〉

689 There are scarcely () flowers in our garden.

□□□

① no ② a little ③ any ④ some

〈明治大〉

690 Ayako's on a diet. She () any meat.

□□□

① hardly doesn't eat

② hardly never eats

③ doesn't eat hardly

④ hardly ever eats

〈清泉女子大〉

691 The train reached the station so late that I () missed the bus to the university.

□□□

① soon ② most ③ almost ④ hardly

〈杏林大〉

684 ジョンがついにやって来たとき、メアリーはすでに10分前に立ち去っていた。

685 以前、彼に会ったことがあると言ったとき、私は彼女がうそをついていると思った。

686 お腹が痛かったので、私は昨日、ほとんど何も食べなかった。

687 私たちは、映画にはめったに行きません。1年にたったの1度か2度です。

688 トムはほとんどいつも遅刻する。彼はめったに時間通りに仕事に来ない。

689 私たちの庭には花がほとんどありません。

690 アヤコはダイエット中である。彼女はめったに肉を食べない。

691 電車はかなり遅れて駅に着いたので、私は大学行きのバスにもう少しで乗り遅れるところだった。

Point 168 :: ago と before の用法

684 ago と before の用法

標準

- ▶ **before** には過去完了時制で用い、時間を表す語句を前に伴って「過去のある時点から…前に」の意味を持つ用法がある。
- ▶ **ago** は常に過去時制で用い、時間を表す語句を前に伴って「今から…前に」を表す。本問は過去完了時制なので③10 minutes ago は不可。
- ▶ ① before 10 minutes は不可。時間を表す語句は before の前に置く。

685 単独で用いられる before の用法

標準

- ▶ **before** には時間を表す語句を伴わずに単独で用いる用法がある。現在完了形か過去形で用いられると「今より以前に」の意味を持ち、過去完了形で用いられると「その時より以前に」の意味を持つ。
- ▶ ago は単独で用いることはない。

Point 169 :: hardly[scarcely], rarely[seldom], almost などの用法

686 hardly[scarcely] 「ほとんど…ない」の用法

標準

- ▶ **hardly[scarcely]** は程度を表す準否定の副詞で「ほとんど…ない」の意味を表す。

687 seldom[rarely] 「めったに…ない」の用法

標準

- ▶ **seldom[rarely]** は頻度を表す準否定の副詞で「めったに…ない」の意味を表す。

688 rarely の用法 (→ 687)

標準

689 scarcely[hardly] any+A 「ほとんどAがない」

標準

- ▶ **scarcely[hardly]** は、any を修飾して「**scarcely[hardly] any+A**」の形で「ほとんどAがない」の意味を表す。意味的には「few[little]+名詞」よりも強く、「no+名詞」よりも弱い。

+プラス **scarcely[hardly] any+A** は「**almost no+A**」と同意。

690 hardly[scarcely] ever 「めったに…ない」= seldom[rarely]

発展

- ▶ **hardly[scarcely]** は程度、**seldom[rarely]** は頻度を表す準否定語であるが (→ 686, 687), **hardly[scarcely]** は **hardly[scarcely] ever** の形で「めったに…ない(頻度)」の意味を表し、**seldom[rarely]** と同意になる。

691 注意すべき almost[nearly] の用法

標準

- ▶ **almost** と **nearly** は **hardly** などとは異なり否定の意味を含まず、「ほとんど…/危うく…するところ」の意味を表す。

Point 170

692 I was careless ② to have lost my camera ③ on my way ④ to home.
□□□ (駒澤大)

693 My father goes () on business at least twice a year.
□□□ ① abroad ② abroad in ③ for abroad ④ to abroad (東海大)

Point 171

694 The player felt () weak after finishing the game.
□□□ ① much ② prettily ③ hurriedly ④ pretty (駿河台大)

695 The paint simply ① would not come out, ② no matter how ③ hardly he ④ tried to remove it with that cleaner.
□□□ (立命館大)

696 There are over fifty students in the class, and they are () girls.
□□□ ① mostly ② almost ③ most ④ most of (名古屋外大)

整理 78

‘ly’の有無によって意味の異なる副詞



- **hard** 「一生懸命に」/ **hardly** 「ほとんど…ない」(→ 695)
- **high** 「高く」/ **highly** 「非常に」
- **just** 「ちょうど」/ **justly** 「公正に」
- **late** 「遅く」/ **lately** 「最近」
- **most** 「最も」/ **mostly** 「たいていは、主として」(→ 696)
- **near** 「近くで」/ **nearly** 「危うく…するところ」
- **pretty** 「かなり(形容詞の前で)」/ **prettily** 「きれいに」(→ 694)
- **sharp** 「きっかりに」/ **sharply** 「鋭く」

692 帰宅途中にカメラを紛失するとは私はうかつだった。

693 父は少なくとも年に2度出張で海外に出かける。

694 その選手は、試合が終わった後、かなり体が弱っているのを感じた。

695 その洗剤を使って彼がどれほど必死になって落とそうとしても、そのペンキはどうしても落ちなかった。

696 そのクラスには50人を超える学生がいますが、そのほとんどが女子です。

Point 170 名詞と間違えやすい副詞

692 on one's way home 「帰宅途中で」 標準

▶ on my way home の home は名詞ではなく副詞で「家へ」の意味を表す。home の前に to などの前置詞を用いることはない。

693 go abroad 「外国へ行く」 標準

+プラス 同様に, get home 「家に(帰り)着く」, go upstairs [downstairs] 「上の階[下の階]に行く」, go downtown 「町へ行く」などの表現における, home, upstairs [downstairs], downtown も副詞であって, 前置詞の to などは入らない。

Point 171 'ly' の有無によって意味の異なる副詞

読解上も重要なので, 左頁の【整理78】の副詞の意味を正確に押さえておこう。

694 pretty と prettily の区別 標準

▶ pretty は形容詞で用いると「きれいな」の意味を表すが, 副詞の pretty は形容詞の前で用いられ「かなり」の意味を表す。

▶ 'ly' のついた② prettily は「きれいに」の意味。

▶ ① much は不可。much は形容詞の比較級・最上級を強調するが, 原級は強調できない。much weak ではなくて, very weak ならば可。695 hard と hardly の区別 標準

▶ 副詞の hard は「一生懸命に」の意味を表し, hardly は準否定で「ほとんど…ない」の意味を表す(→ 686)。

696 mostly などの紛らわしい表現 発展

▶ mostly は sometimes 「ときどき」より多い頻度を表し, 「たいていは」の意味を表すが, 本問のように名詞の前後に置き, 「主として/主に」の意味も表すことに注意。

▶ 日本語で考えると② almost もよさそうだが, almost 「ほとんど…」の定義は「九分どおりまでいっているが, 今一歩およばなくて」であり, 本問で almost を用いると, 「ほとんど女の子であるが, 今一歩女の子ではない」といった文意になる。

▶ ③ most は文法的には可だが, 「ほとんどの女の子」の意味になり, 文意が通らない。④ most of は後に限定された名詞が来なければならず, 無冠詞の不特定な girls が後に続くことはない。以上の点は, p.100【整理27】参照。

Point 172

697 My uncle was sound asleep.

□□□

① sleeping quietly

② sleeping badly

③ sleeping deeply

④ sleeping noisily

〈立命館大〉

698 (a) She comes from the U.S.A. and he's from Canada.

□□□

(b) They come from the U.S.A. and Canada (r).

〈北海学園大〉

699 It's the most amazing thing I ().

□□□

① even heard

② have ever heard

③ have never heard

④ once heard

〈神戸女子大〉

700 (a) It was fortunate that the weather was fine.

□□□

(b) (), the weather was fine.

〈亜細亜大〉

701 That car is () too expensive for most families.

□□□

① very ② much ③ pretty ④ fairly

〈立命館大〉

整理 79

副詞 much の強調用法

- He is **much** too young. (too ... の強調) (⇒701)
(彼はあまりにも若すぎる)
- **Much** to my joy, he helped me with my work. (前置詞句の強調)
(とてもうれしいことに、彼が私の仕事を手伝ってくれた)
- He is **much** taller than I am. (比較級の強調) (⇒188)
(彼は私よりもずっと背が高い)
- That is **much** the best. (最上級の強調) (⇒211)
(それがずばぬけて一番よい)

697 私のおじはぐっすり眠っていた。

698 (a) 彼女はアメリカ合衆国出身で、彼はカナダ出身です。

(b) 彼らはそれぞれアメリカ合衆国とカナダの出身です。

699 それは私が今まで聞いた中で最も驚くべきことだ。

700 (a) 天気がよかったのは幸運だった。

(b) 幸運なことに天気がよかった。

701 あの車はほとんどの家庭にとってあまりにも高価すぎる。

Point 172 : その他の注意すべき副詞

- 697 副詞の **sound** の用法—**sound asleep** 標準
 ▶ 副詞の **sound** は **asleep** を修飾して「ぐっすり」との意味を表す。**sound asleep** 「ぐっすり眠って」はイディオムとして押さえる。
 +プラス 同意表現の **fast asleep** も頻出。
- 698 **respectively** の意味 発展
 ▶ **respectively** は形容詞 **respective** 「めいめいの」(→ p.233【整理74】)の副詞にあたり、「めいめいに／それぞれに」の意味を表す。
- 699 **ever** の用法 標準
 ▶ **ever** 「これまでに／今までに」は通例、疑問文・否定文で用い、肯定文では用いないが、本問のように **the+最上級+名詞+(that) S have ever done** 「Sが今まで～した中で最も…」(→ 212)の表現の場合は、例外的に **ever** は肯定文で用いられる。
- 700 文修飾の副詞 **fortunately** の用法 標準
 ▶ **fortunately** 「幸運にも」、**luckily** 「幸運にも」、**unfortunately** 「不運にも」といった副詞が通例、文頭で用いられると、文全体を修飾し、文の内容に対する話者[書き手]の気持ちを示す。
Unfortunately, he failed to pass the examination again.
 = *It was unfortunate that he failed to pass the examination again.*
 (不幸にも、彼は再度、試験に失敗した)
- 701 **much** の用法—「**too+形容詞[副詞]**」の強調 標準
 ▶ 副詞の **much** は、強調語として「**too+形容詞[副詞]**」を強調する用法がある。副詞の **much** のその他の強調用法も重要(→ 左頁の【整理79】)。
 +プラス ① very, ③ pretty, ④ fairly や quite などは「**too+形容詞[副詞]**」を強調できない。語法上のルールとして覚えておこう。

702 I'd like you to bring back the drama program. Connie, the school
 is () in need of a drama program.

- ① badly ② poorly ③ carefully ④ stupidly 〈日本大〉

703 (a) In the beginning, the club had only five members.

(b) () (), the club had only five members. 〈西南学院大〉

704 We must go early; () we won't get good seats.

① because ② otherwise ③ therefore ④ unless 〈センター試験〉

702 その演劇の講座を復活してくれないか。学校で演劇の講座がとても必要なんだよ、コニー。

703 (a) (b) 最初は、クラブには5人の部員しかいなかった。

704 早く行かなければならない。さもないと、良い席が取れないよ。

702 **badly** の強調用法

発展

▶ **badly** は「下手に／まずく」の意味の他に、動詞の **miss** 「…がいなくて寂しく思う」や **want, need, be in need of A** 「Aを必要とする」の表現などを強調して「とても／ひどく」の意味を表す。

703 **at first** 「初めのうちは」の用法

標準

▶ **at first** は「初めのうちは／最初は」の意味で、後になって事態・状況が変わることを暗示する。

▶ (a)の **in the beginning** 「最初は」は **in the end** 「最後には」の反意表現。

➤ **プラス** 紛らわしい表現の **first** と **for the first time** も押さえよう。

(1) **first** 「(順序を意識して)まず第一に／まず最初に」

First we went to a restaurant, and then to the movies.

(まず、私たちはレストランに行って、それから映画に行った)

(2) **for the first time** 「初めて」

When I met her for the first time, she treated me coldly.

(彼女に初めて会ったとき、彼女は私を冷たくあしらった)

704 副詞の **otherwise** 「さもなければ」

標準

▶ 副詞の **otherwise** には「さもなければ」「別のやり方で／違ったふうに」「その他の点では」の3つの意味がある(⇒【整理80】)。本問の **otherwise** は「さもなければ」の意味を表す。

整理 80

副詞 otherwise の3つの意味

(1) 「さもなければ」(⇒704)

(2) 「別のやり方で」

You can arrive earlier by subway than otherwise.

(地下鉄で行けば他の方法よりも早く着きます)

(3) 「その他の点では」

Your essay is a little long, but otherwise it is good.

(君のレポートは少し長いが、その他の点では申し分ない)